

本庄市高校生プロジェクト「七高祭」運営業務委託 質問回答

No.	質問	回答
1	地域コラボ企画のテーマは現段階では3つのことですが、テーマが増える可能性はありますか。また、増えた場合の追加事業費は決定後の協議で増額可能でしょうか。	地域コラボ企画のテーマの数は、現段階での想定になるため増える可能性はあります。なお、テーマが増えた場合でも、事業費の増額はしませんので、これにかかる委託料の増額はありません。
2	高校生の参加人数について、地域連携プログラム及び地域コラボ企画に参加する高校生の人数は、各テーマ10名×7つのテーマ=70名で、地域連携プログラムと地域コラボ企画を兼任する学生はいないという認識で間違いないでしょうか。	実施期間が限られる地域コラボ企画については、兼任する参加高校生がいる可能性があります。
3	フィールドワークの開催回数の記載がありませんが、回数は何回を想定されていますでしょうか。また上限・下限はありますか。	各テーマでのフィールドワークの開催回数については、取り組み内容によって差異が生じますが、昨年度の実績では、各テーマにつき2、3回フィールドワークを実施しました。なお、上限・下限はありませんが、各テーマ1回以上のフィールドワークの実施を想定しています。
4	「受注者は、原則1名以上の担当者を各テーマに配置し」とありますが、地域連携プログラムと地域コラボ企画の担当者が同じ担当者でも良いという認識で間違いないでしょうか。	地域連携プログラムの4つのテーマ及び地域コラボ企画の3つのテーマについては、それぞれ違う担当者を配置してください。ただし、実施期間が限られる地域コラボ企画の3つのテーマを2名の担当者が担当することは可能です。なお、全体統括には、各テーマに配置される担当者とは別の担当者を配置してください。
5	高校生がフィールドワークに参加する際の保険は必須でしょうか。フィールドワークの内容によって協議させて頂けるという認識で間違いないでしょうか。	お見込みのとおりです。
6	ワークショップの回数は何回を想定していますでしょうか。	ワークショップについては8回を想定しています。また、ワークショップとは別に、「中間報告会」及び「最終報告会」を各1回実施する予定です。
7	仕様書9ページ(4)のアンケートの目標回収数について、目標値などはありますか。	来場者の30%を目標としています。目標値の達成に向けた工夫をしてください。
8	「ねんりんピックのPR」のテーマにおける制作物について、「配布用ノベルティ」と「制作物(フォトスポットや看板など)」のどちらのイメージに近いでしょうか。また、ノベルティの場合、個数や単価等の指定・希望はありますか。	制作物については、「配布用ノベルティ」を想定しています。なお、ねんりんピックのPRグッズの制作にかかる費用については市が負担します。
9	「図書館の利用促進」のテーマについては、県内でのフィールドワークの実施を想定されていますが、他のテーマのフィールドワークは、仕様書に記載のとおり、市内を想定しているという認識で間違いないでしょうか。	フィールドワークは原則として市内で実施することとしています。仕様書に記載のとおり、参加高校生のアイデアや取り組み内容によっては、市外で実施の可能性もあります。
10	地域連携プログラム及び地域コラボ企画の各テーマなど、全てのフィールドワークを含め全体で最低40万円以上を想定するという認識で間違いないでしょうか。	お見込みのとおりです。
11	募集要項4ページ(3)③にある合同文化祭の経費5万円は、本番のステージ発表で生じる備品等の費用で想定していますでしょうか。または、展示ブース等も含めての想定でしょうか。	5万円の経費については、市内高等学校等の部活動が、合同文化祭に参加する際に生じる費用として想定しています。合同文化祭において必要となる備品や展示ブースの装飾等にかかる費用については、別途、委託料に見込んでください。
12	合同文化祭と併催する市主催イベント等の想定はあるのでしょうか。	合同文化祭と併催するイベント等がある可能性はあります。なお、令和7年度については、市の特産品「あまりん」をPRするイベント「ほんじょうPremium Strawberry Market 2026」と併催しました。
13	イベントで使用する設営備品(ステージ台、パーテーション等)について、市や会場から借りすることは相談可能でしょうか。	市が所有するステージ台やパーテーションなどの備品を貸与することは可能です。ただし、他の業務で使用されている場合は、必要数が確保できない可能性もあります。